

[バス好きのためのバス総合情報誌]

バスマガジンMOOK
講談社ビーシー/講談社

バス BUS magazine マガジン vol.42

ワンタフル
バスカンパニー

JRバス関東・西日本JRバス
クラブツーリズム/関鉄グリーンバス
熊本県山江村/イーグルバス
広島県庄原市/日の丸自動車興業

利便性向上、運行効率化を狙い
事業者同士がコラボレーション!
共同運行路線の現状

徹底解析 運賃表示器&
車内案内表示器の

しくみと
メニューを
すべて
見せます!!



おじゃまします!!
バス会社潜入レポート
『アルピコグループ』

都道府県・地域別
路線バス全方位レポート
『山口県』

今号の気になりバス事業者
『日本中央グループ』

日野・セレガ12m車・9m車、ブルーリボンシティ ハイブリッド
三菱ふそう・エアロQueen・エアロエース、エアロスター

続々登場!ポスト新長期 排出ガス規制適合車

試乗テスト
&
チェック!!

那須への旅を一層楽しくラクにした ホテルエピナル那須の往復直行バス



車両のサイド前方にはホテルエピナル那須のロゴマークが入り、後方下部には中日臨海バスのロゴが入る。ダブルブランド仕様だ



ホテルエピナル那須の玄関前に到着すると、ホテルスタッフがバスに乗り込み、チェックインなどの説明を行なう

東京駅発・池袋経由便が駐車場に向かうと、続いて町田駅発・横浜駅・川崎駅経由便が到着した



ホテルから各所へ向かう帰宅便の発車前には、ホテルスタッフがこのバスの付いた案内板を持って、ロビーで待つ客にバスの出発を伝える



ホテルエピナル那須の玄関前には、なんとバス停がある。ここにはJRバス関東の高速バス「那須塩原リゾートエクスプレス」が停まる。ちなみにこちらの運賃は往復5600円だ。左の小さなバス停は1日1000円で那須の主要観光スポットを巡る「キュービー号」のもの



池袋到着。17時の定刻着で、ドライバーはトランクに預かった乗客の膨大な土産などの荷物を順に手渡すため、大忙しとなる

各車のこの日のドライバー。左から松戸駅発・さいたま新都心経由便の深川浩美さん、東京駅発・池袋経由便の田島功樹さん、町田駅発・横浜駅・川崎駅経由便の内山文雄さん



途中、大谷PAで20分間の休憩タイム。あいにくの雨天だったが、乗客はトイレやショップ棟に向かい、飲み物を仕入れたり身体を伸ばして一息



ホテルエピナル那須の専用駐車場に並んだ3台のセレガ。各車とも同一仕様で13時～14時ごろ、ここに集合する



乗客がそうとう、ドライバーより運行に対する注意や所要時間、スケジュールなどが案内される。高速道路を走るため、シートベルトは必須だ



池袋からの乗車は道路を利用しているため、ドライバーは周囲を気配りしながら乗客を誘導する

**リラックスしたまま、首都圏から那須へ高速移動!!
最上のリゾートムードが出発地から始まる!!**

関東エリアにおいて栃木県の那須は、御用邸も置かれている一級のリゾート地だ。特にこれからの季節は最高といえる陽気だ、避暑にもレジャーにもうってつけの土地だ。新幹線も停まるし東北自動車道でも直通できるから、鉄道やマイカーで向かうのも一般的だが、ここで紹介するのは超安全な交通手段、往復直行バスだ。

これは「ホテルエピナル那須」が利用客向けに行なっているサービスで、もちろん無料とはいかないが、1泊2食付きの宿泊コースに「バスパック」というプランを用意したもの。首都圏各所から発着する高速バスで、各街とホテル玄関前をストレスなしに結んでいる。利用には予約が必要で全席指定だ。

発着地は東京駅発・池袋経由、町田駅発・横浜駅・川崎駅経由、松戸駅発・さいたま新都心経由の3系統。このパックの対象外だがほかにもJR高速バスが新宿駅からホテル玄関前まで運行されている。

このバスパックを利用すると、4人の家族旅行で、1泊2食バイキングコースを利用の場合、ひとり1万円もおトクになる。

乗客がそうとうと車内でホテルスタッフがマイクでお礼を述べ、笑顔で見送る

バスが到着すると、乗客が4人が待っていた。乗客がそうとうと田島ドライバーによる丁寧な挨拶に続く、行程についての説明が行なわれ、準備は完了。定刻の10時30分、池袋を出発したバスは首都圏高速を走り、東北自動車道を経て那須へ向かう。途中、大谷PAで20分間の休憩を挟み、ホテルエピナル那須まで文字どおり直行。Jヒラーのないセレガの車内は明るく、走行も快適。高い視界からの眺望とこれから向かう那須への期待で車内のムードも楽しげだ。

予定ではホテルエピナル那須には13時到着となっていたが、渋滞の少ない時刻を選んだ運用のため、やや早めに無事に到着した。快適な乗り心地とリラックスできる車内で過ごした時間はあっという間で、乗客の顔に疲れは見えない。到着するなりホテルエピナル那須のスタッフがバスに乗り込み、チェックインなどについての説明が行なわれる。実に効率の良い流れに、記者も感心。車内で出たゴミを回収し、乗客はフロントに案内される。

この東京発着・池袋経由便が駐車場に向かうために玄関前を離れると、間髪入れずに、町田駅発・横浜駅・川崎駅経由便が到着した。見事な連携である。

この往復直行バスはシャトル便のため、その後、帰宅する利用客のために、ホテルエピナル那須発着各所への路線を辿ることになる。池袋経由・東京駅発の発車は14時20分。80分のインタールを取ってこの日にチェックアウトした乗客を乗せ、ホテルスタッフたちに見送られてセレガはホテル玄関前を出発した。

温泉・プール・バイキング… ファミリーで楽しめる 総合リゾートホテル

ホテルエピナル那須は、温泉露天風呂はもちろん室内温水プールも備え、那須初のツリートレッキング、バターゴルフ等のアクティビティ、体験工房などを備えた総合リゾートホテルだ。那須高原の新鮮な旬の素材を活かしたバイキングも大満足間違いなし。

ホテルエピナル那須
〒325-0302
栃木県那須郡那須町大字高久丙1番地
☎0287-78-6000
E-mail: hotel@epinard.jp
http://www.epinard.jp/



那須高原の森の中に建つホテルエピナル那須。リゾートライフを心から満喫できる施設が充実している